昭和57年　第820号
11月14日

市報 にいがた

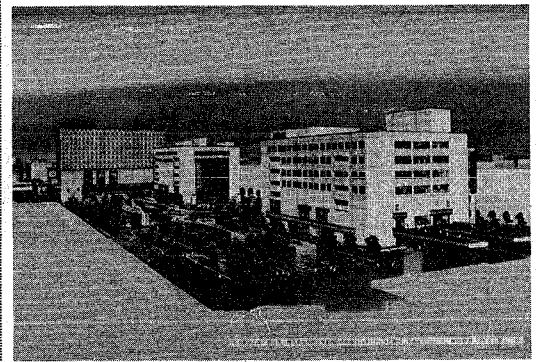
市の人口
前月比
人口 458,302(+192)
男 224,617(+117)
女 233,685(+75)
世帯数 147,161(+42)
57年9月末現在

発行日 毎週日曜日
発行所 新潟市役所
新潟市西堀通6番町866
電話代表(28)1000
編集人 二宮省三
(担当企画部広報課)
印刷所 (株)第一印刷所

駅南開発

進出ホテルは藤田観光に

市が新潟駅南口地区で進めている駅南開発の第一地区〝A1棟〟のキーテナントとなるホテルに、藤田観光（本社、東京）の「新潟ワシントンホテル」が安田生命保険（本社、東京）とタイ・アップして進出することになりました。ホテルは、昭和六十年春オープンの予定です。



第一1地区3棟の完成予想図（左からホテルが入るA1棟、A2棟、C1棟）

再開発ビル（第一地区）のオープンは59年度

進出の決まった藤田観光は、ワシントンホテル、ホテル藤田の名称で、全国各地にチェーン店を展開しており、新潟地区では、駅南が初めての出店となります。

安田生命保険が、ホテル床を市から買い取り、藤田観光が安田生命から借りうける形で、テナント進出が最終的に決まったものです。

A1棟のホテル部門は、四階から十二階までを占め、客室数三百十一、収容人員三百八十九人です。

第一地区は、市が直接事業主体となるもので、施行面積は約二・四㌶。すでに完成している南口広場や修景道路などの公共施設や三棟（A1、A2、C1）の再開発ビルを、約百八十七億円をかけて建設するものです。三棟は、五十九年度末に同時完成の予定です。

三棟の再開発ビルには、それぞれ性格づけに合ったテナントが入ることになっています。A1棟は、ホテルとマッチした風格のある「ファッション街」、A2棟は、シティ感覚あふれる「若者の街」、C1棟は、ミセスと子供たちの集う「ファミリー・タウン」となっています。

新しい副都心を目指す駅南開発

「二十一世紀の生活と文化都市づくり」をキャッチフレーズに昭和五十年八月スタートした駅南開発計画は、新潟駅南口地区の約十五・四㌶を整備して、新しい副都心をつくるものです。

街づくりは、十五・四㌶のうち、九㌶を五つの街区に分け、都市再開発法に基づく市街地再開発事業で行い、残る六㌶は、開発計画に沿って民間の自主開発で進められます。

市が直接施行する第一地区に続き、民間の自主開発で行うF街区には、住宅・都市整備公団の手で、高層ビルが建設されることになっており、すでに土地の除却整地作業が開始されています。建物は、一階から三階までが公共的施設、四階から上が分譲マンションで、完成は六十年度の予定です。

（お願い） 新潟駅東側連絡通路の非常口などを表示する補助灯がいたずらされています。このようなことは、絶対にしないようお願いします。

市職員（看護婦・助産婦・薬剤師）を募集

職種 看護婦、助産婦、薬剤師

試験日 十二月二十一日（火）

試験場 市職員研修所（市水道局敷地内、関屋下川原町）

試験の内容 ①第一次試験…筆記試験（教養試験、専門試験）、適性検査、②第二次試験…第一次試験合格者に後日実施

受験資格

看護婦 昭和二十七年四月二日以降に生まれた人で、次のいずれかに該当する人

ア、看護婦免許取得者

イ、保健婦助産婦看護法による看護婦学校、または看護婦養成所を昭和五十八年三月三十一日までに卒業する見込みの人で、助産婦免許を取得する見込みの人

助産婦 昭和二十七年四月二日以降に生まれた人で、次のいずれかに該当する人

ア、助産婦免許取得者

イ、保健婦助産婦看護婦法による助産婦学校、または助産婦養成所を昭和五十八年三月三十一日までに卒業する見込みの人で、助産婦免許を取得する見込みの人

薬剤師 昭和三十一年四月二日以降に生まれた人で、次のいずれかに該当する人

ア、薬剤師免許取得者

イ、学校教育法による大学（短期大学を除く）を昭和五十八年三月三十一日までに卒業見込みの人で、薬剤師免許を取得する見込みの人

試験案内と応募用紙 市人事課で十五日から差し上げます。郵送希望の人は、あて先を明記し、六十円切手をはった返信用封筒を同封して、封筒に「受験用紙」と記入して下さい。

申込期間 十一月十五日から十一月二十七日まで（郵送の場合は十一月二十七日消印有効）

申込先 市人事課（〒951西堀通六―八六六、☎28―一〇〇〇）へ

定財～指定文化財～2

五姓田芳柳筆八木朋直肖像

（文化財の種別） 有形文化財　絵画

（かたち） 絹本著色。絹地縦四十二㌢、横三十二・五㌢に描いた肖像画を掛軸に仕立てたもの

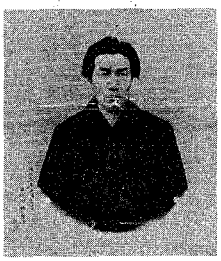
（所在地） 緑町三四三七番地

（管理者） 市郷土資料館

（寄贈者） 平田義夫氏（笹田町一―三六）

（説明） 市は、横浜絵の創始者五姓田芳柳が明治二十一年に描いた「万代橋図」を、万代橋架橋者八木朋直の子孫である八木孝氏（旭町通二―五三八）より寄贈を受け、これを昭和五十三年十一月、市指定の文化財としました。

このたび、同じく五姓田芳柳描くところの「八木朋直肖像」を文化財に指定したのであるから、市は幸いにも、同一画家の手になる万代橋架橋者の肖像画を所有することになった。



前回紹介したように、五姓田芳柳筆「鈴木長蔵肖像」の鈴木は第二代新潟市長であり、この八木朋直は第三代市長であるから、市は同一画家の手による第二代・第三代市長の肖像画を一挙に文化財に指定したわけである。

八木朋直は米沢藩士。北越戊辰戦争に活躍し（その際うけた傷がこの肖像画の右頬に描かれている）、のち第四銀行の第二代頭取となる。明治十九年、内山信太郎と共に初代万代橋を架橋する（今の万代橋は三代目）。明治三十二年市長就任。

この肖像画は明治二十年に制作されたものであるから、八木朋直年齢四十五、六の風貌で、第四銀行頭取在職中。

（新潟市郷土資料館）

小川さん（上大川前九）が「美人画」（五姓田芳柳筆）を寄贈

市文化財に一代目・五姓田芳柳筆の肖像画一点が新たに指定されましたが、このほどその芳柳が描いた「美人画」（写真）が市に寄贈されました。

寄贈者は上大川前通九―一五三二に住む小川ワカさん。

作品は明治十八年作のいわゆる横浜絵で、当時の新潟の売れっ娘芸妓「小川美以子嬢」を華にした、大変貴重なものです。

新潟博覧会

明日（15日）から入場券を発売

【新潟の新しい飛躍と可能性を求めて】をテーマに来年七月一日から六十二日間にわたって新潟市親松地内で開かれる「新潟博覧会」（愛称＝'83新潟博）の入場券を明日十五日から市内有名プレイガイド等で発売開始します。

〈入場料〉

	前売り	当日
大人	1,200円	1,500円
高校生	800円	1,000円
小・中学生	500円	600円
幼児（満3歳以上）	200円	300円

問い合わせ 新潟博覧会事務局（☎23―5511、内線3840）または市商業観光課（☎28―1000）へ

おもな目次
◆内野子供劇団が夕鶴を熱演（二面）
◆大気汚染は横ばい ～公害特集～（三面）
◆盛況の公民館文化祭（四面）

動く市政教室参加者募集

～あなたの体力は？～

日時 11月19日午前9時50分市役所中庭集合（午後3時20分解散）

コース 音楽文化会館（館内見学、サークル活動見学）～鳥屋野総合体育館（館内見学、健康教室、体力測定）

定員 45人　**参加費** 100円

持参品 昼食、体操のできる服装・靴

申し込み 電話で市民相談室（☎28―1000内線238～240）へ。※11月15日午前8時半～受け付けます。

花積正夫講演会

～心臓病児を持つ親の心がまえ～

日時 11月21日午前9時～午後2時

会場 市社会福祉センター

問い合わせ 全国心臓病の子供を守る会新潟支部　山口（☎77―3957）へ

園芸講座

会場 市園芸センター

定員 各50人（先着順）

申し込み 電話で市園芸センター講習会係（☎86―1034）へ。受け付けは今日からです。

◇冬囲い講座◇

～松の枝つり、ワラボッチ作り～

日時 11月17日、24日午後1時15分～3時15分（どちらか都合のよい日を選択）

講師 市園芸センター職員

◇家庭果樹講座◇

～家庭果樹のせん定と防除～

日時 11月19日午後1時15分～3時15分

講師 中村義栄（農業改良普及員）

「文芸にいがた」第2号

―予約受け付け中―

発刊予定日 12月15日

掲載内容 小説、詩、短歌、俳句、川柳、童話、随筆―270編

価格 1,000円程度

現品引き渡し 12月15日～2月5日の間、中央公民館、または地区公民館で。※現金と引き換えです。

予約締め切り 11月25日

申し込み ①はがきに氏名、住所、電話番号、冊数、受け取り場所（中央公民館、または希望する地区公民館）を明記して中央公民館内「文芸にいがた」発刊運営委員会事務局（〒951西堀通6―873）、または②直接最寄りの地区公民館へ

第48回市民健康教室

「かぶれ」

講師 若松欣一（市医師会）

日時 十一月二十四日午後一時～二時半

会場 中央公民館四階四〇五号室

申し込み 当日正午までに、電話で市衛生課（☎28―一〇〇〇）へ。―先着五十人まで―